



知床の森から

平成21年9月発行 第121



北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ <http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/shiretoko/>

知床「永久の森林づくり」フォーラムを開催

9月13日(日)、森林センターと「知床永久の森林づくり協議会」(会長：辻井達一)の共同主催により、北海道における森林環境教育について考えるフォーラムを知床ボランティア活動施設で開催しました。

東京農業大学オホーツク実学センター長の黒瀧秀久教授の基調講演のあと、北海道各地で森林環境教育を実践されている、NPO法人知床自然学校主宰関口均氏、北見北斗高校教諭布施達治氏、NPO法人ねおすチーフディレクター上田融氏の3方からの事例発表をしていただき、その後、黒瀧教授をコーディネーター、事例発表者3名と森林管理局安楽計画部長をパネラーとしてパネルディスカッションを行いました。



午後は、森林づくり活動体験として、ウトロ地区の国有林内でエゾシカ食害防止ネット巻体験を行いました。参加者を4つのグループに分けてエゾシカの食害の多いイチイの木に各グループ4本～7本のネット巻を体験しました。

参加者からは、「大変良かった」、「参考になった」等の意見が多くありましたが、一方で「基調講演の時間が短い」などの今後に向けて参考となる意見もありました。

今回のイベントは、フォーラム+森林づくり体験という初めての試みであり、反省点も多くありましたが、多くの方々にご協力頂き、開催できましたことに感謝申し上げます。

～【夏休み企画】子ども木工教室～

8月5日(水)、夏休みの子どもを対象に木工教室を開催しました。参加者は、地元の小学生など子ども33名、保護者10名の計43名で、年齢別に2グループに分かれ、キャンプ場内での野外活動では、カモフラージュ、種子散布の話、種模型飛ばしを行ない、ボランティア活動施設での屋内活動では、木工工作を体験しました。

木工工作では、ドングリや松ぼっくり、枝や輪切りなどを使って、自由に作品づくりをしました。75分の時間内にじっくりとこだわりの1品を作る子、いくつも作る子、かっこいい飛行機を作る子など、個性あふれるオリジナル作品が誕生しました。カモフラージュでは、遊歩道沿いにいくつか隠された人工物を注意深く探し、数を当てる遊びを通して、昆虫の擬態を学びました。種子散布の話では、実際に色々な形の種子を手にとりて観察したり、絵を使って風や動物などによる散布の仕方を学んだり、クイズを通して種子の構造を学びました。

子ども達からは、「木工工作は、工夫できて楽しかった。またやりたい。」「種子のことがよくわかった。」「自然を大切にしたい。」などの感想がありました。夏休みの楽しかった思い出の一つになったようです。



～北見北斗高校との連携による森林環境保全活動～

7月30、31日の2日間、北見北斗高等学校の1、2年生31名が知床を訪れ、知床の自然について学ぶとともに森林環境保全活動を実施しました。

はじめに、ボランティア活動施設で知床の自然と森林生態系の学習をした後、オシンコシン上周辺国有林に移動しエゾシカによるイチイの樹皮食害を防ぐための食害防止ネット巻きを行いました。これまで何百年もかけて育ったイチイの木が樹皮食いにより1年で枯れてしまうこともあります。一方でネットを巻くことにより、その木は今後何百年も生き続けることもあります。生徒たちは、未来の森林を守るのは自分たちだという意識を持って1本1本丁寧にネットを巻いていきました。

その他、知床の森林を体験し森林生態系について学ぶ、オシンコシン上周辺国有林と知床自然観察教育林の散策では、知床の原生林にふれ、日頃見ている森林との違いや神秘的な風景に生徒から驚きと感動の声が聞かれました。



オホーツクみどりネットワーク&森林センターの 知床の森林トレッキング

9月12日(土)、オホーツクみどりネットワークとの協力による知床の森林トレッキングを開催しました。

同ネットワークの代表であり樹木医の鈴木順策先生の解説を聞きながらのオシンコシン上周辺国有林約3時間の散策は、森林内の物質循環や生態系を学習するとともに先生のユーモアあふれるお話で、参加した皆さんからは「自然のサイクルに貢献したい」「楽しくてあっという間の3時間だった」等の感想が聞かれました。



龍谷大学ネット巻き体験

9月9日(水)、龍谷大学の教授、学生合わせて17名が、イチイ林木遺伝資源保存林において、すがすがしい秋晴れのなか、キハダ、ニレを中心にエゾシカ食害防止ネット巻き体験をしました。

当センター所長の挨拶の後、東京農大オホーツク実学センターの北原専任研究員よりエゾシカによる林木への被害状況、イチイ林木遺伝資源林での調査活動、ダニについて等の話がされ、ダニに怯えながら恐る恐る作業に入りました。作業の中では、直径2メートル以上あるニレがあり、「よくぞ今まで無事で...」と感心しながら数人掛かりで周囲を計測し、協力してネットを巻き、最後に念入りにダニがいないか確認し作業を終えました。

今回は珍しいニレの大径木もあり、参加した学生から「貴重な体験をして、とても楽しかった」などの声も聞かれ、エゾシカと人との関わりについて、いい学習機会になってくれたと思います。



東京農業大学ネット巻き体験

9月17日(木)、知床永久の森林づくり協議会及び東京農業大学現代GPエゾシカ学と連携し、前回6月に引き続き、樹木の保護、森林とエゾシカの関わりを学ぶ機会として、東京農大オホーツクキャンパスの学生、網走市民、合わせて19名がイチイ林木遺伝資源保存林においてエゾシカ食害防止ネット巻き体験をしました。

当日は、午前11時に知床ボランティア活動施設に集合し、当センター所長より森林センターの役割、ボランティア活動施設について、エゾシカやイチイ林についての話がされた後、午後からの作業となりました。

現地では、北原専任研究員からエゾシカによる食害、植生についての説明の後、3班に分かれネット巻き作業を行いました。作業は終始笑顔でそれぞれ役割分担をしてスムーズに進み、予定より1時間近く早く終わりました。

今回は市民の方の参加もあり、エゾシカ食害防止ネット巻き体験を通じて知床でのエゾシカによる被害の現状を広く知ってもらい良い機会になってくれたと思います。参加者の方からは「大変な作業だと思いますが、これからもお身体に気をつけて頑張ってください」とのうれしいエールも頂きました。

丸太切り体験in水のがっこう

8月8日(土)、旧斜里町立来運(らいうん)小学校で第7回水のがっこう夏まつりが開催されました。水のがっこうは、近隣市町村の各種団体がさまざまな体験活動ができるワークショップや地元食材を活かした飲食コーナー等を出店しているもので、当センターは、丸太を切ってコースターとペン立てづくりのワークショップを出店しました。

当日は約650名の来場者があり、晴天に恵まれ暑い中のイベントでしたが、地元斜里町を始め近隣の市町村から参加した子供たちは大粒の汗を流しながら慣れない手つきでノコギリを挽いていました。子供たちは切った材料でペン立てを作ったり、材料の表面をきれいにヤスリで磨き、お気に入りの焼き印を押していました。参加した子供たちからは「夏休み宿題にする」や「自分の部屋に飾る」などの声が聞こえ、木材の柔らかさ、加工のしやすさなどを理解してもらうことが出来ました。



知床は今

知床の短い夏も終わり、あっという間に秋が到来しました。知床森林センターは、今日はあっちの現場、明日はこっちの現場と各種調査業務も最盛期を迎え、忙しい日々を送っています。

知床では秋の風物詩である、カラフトマスとサケの遡上がみられます。カラフトマスは8月中旬頃から9月下旬頃まで、サケは9月下旬頃から11月の下旬頃まで母川を目指して一斉に遡上してきます。この時期、海岸沿いの橋の上で川をのぞき込んでいる観光客の方々が感嘆の声をよく聞きます。

森林の養分を含んだ川で生まれたサケが海へ出て大きくなり、生まれた川へ帰ってくるという大きな循環システムが知床の豊かな生態系を育んでいることが実感できる季節です。



ボランティア施設から

7月21日から9月23日までの間、夏休み中の子供たち等を対象にした木工工作コーナーが大盛況の中終了しました。金づちやノコギリの音と笑い声で大賑わいだった今回の木工工作コーナー、期間中の利用者数はのべ220名で道外からの利用者も多く、中には、海外からいらした方もいました。

コーナーでは、ドングリやクルミなどの木の実や、ノコギリで好みのサイズに加工した枝や板を、ボンドや釘を使い工作をしていました。利用者は、夏休みの宿題と思い出作りが両方できると、カブトムシやクワガタなどの昆虫や、バイク・貯金箱などを楽しそうに作っていました。

コーナー終了後も、パネル展示などを行っています。近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。



10月・11月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPが電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み期間等
10月4日(日) ・25日(日)	知床らうすの 森・川・海をつなぐ1日体験！	羅臼町内・春苅古丹ほか 定員25名(先着)	問合せ:知床羅臼町観光協会 TEL:0153-87-3360
11月7日(土)	森林の恵みで草木染め ～オリジナル箸袋&お箸を作ろう～	知床ボランティア活動施設 定員15名程度(先着)	10月1日～30日



去年の草木染めの様子です

今年は箸袋を作ります！



この広報誌は道産間伐材を使用しています。